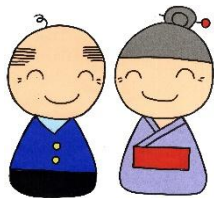


令和6年度 事業報告書



社会福祉法人 幸 寿 会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105 埼玉県深谷市本田 4915 番地 1
TEL 048-583-5555 FAX 048-583-7257
E-mail info@seifuuen.com URL <https://seifuuen.com/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・	2
令和6年度の主な庶務事項・・・・・・・・・・・・・・・・	3
特別養護老人ホーム清風苑・・・・・・・・・・・・・・・・	7
（介護老人福祉施設） （（介護予防）短期入所生活介護） 総評、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	
深谷市デイサービスセンター清風苑・・・・・・・・・・・・	16
（（介護予防）通所介護） 総評、委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	
清風苑在宅介護支援センター・・・・・・・・・・・・	22
（居宅介護支援事業者） 深谷市在宅介護支援センター清風苑 （在宅介護支援センター） 総評、各会議、研修・会議の参加状況、業務報告、利用者状況	
生計困難者に対する相談支援事業・・・・・・・・・・・・	25
総評、相談状況、研修・会議の参加状況	
事務・・・・・・・・・・・・・・・・	27
総評、業務目標、研修・会議の参加状況	
給食・・・・・・・・・・・・・・・・	28

は じ め に

介護報酬改定年であった令和6年度は、報酬単価改定のほか事業所の概要等重要事項の電磁的供覧や協力医療機関の届出が求められ、経過措置であったBCP未実施や高齢者虐待防止措置未実施減算が始まった。これらは既に対応済みではあったが、今回の改定は4月と8月（居住費）に行われたため、利用されている方への案内が負担となった。また、食費の基準額変更がなかったため、食事提供に係る費用の持ち出しは食材単価と調理人件費上昇と共に更に増えることとなった。

感染症においては、7月に新型コロナ、1月にインフルエンザの施設内感染が発生して、どちらも約1ヶ月間の感染対応を行う事となり、利用者の健康と利用率に影響がでた。しかしながら職員配置の余裕のない中、介護・看護職員を中心に協力しあい終息することができた。

令和5年度事業廃止とした「グループホームすずかけ」の建屋を寮として令和6年6月から7年2月にかけて特定技能介護職員3名の受入れを行い、年度末までに2名が夜勤に就けるようになった。また職員育成に力を入れて1人1人の業務の基礎力とチーム力向上に努めた。

地域貢献の取組みとして、令和6年度から毎月開催の「歌声サロン川本」の送迎支援や「ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進連絡会」によるフードパントリー、幡羅小学校総合学習への講師派遣、近隣での不慮の事故対応へAEDの設置と講習受講を行い、安心安全なまちづくりへ貢献した。この他、ワモア川本にて認知症高齢者の理解をテーマに介護者教室を開催した。

収支についてはデイサービスの給湯器更新ほか、幾つかのメンテナンスや更新事業があったが、利用率が比較的落ち着きをみせ、職員育成の効果等もあって、ここ数年の中では良好な結果となった。今後はICTの更なる活用を取り入れながら各職員のスキルアップとチームワークでサービスの質の向上と健全な運営そして地域への貢献に努めてまいります。

運 営 の 理 念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし
地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事 業 方 針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

令和 6 年度の主な庶務事項

6. 4. 1 辞令交付式
4. 1 施設総合補償【しせつの損害補償】保険契約締結（損害保険ジャパン㈱）
4. 1 変更届出書提出（支援：ケアマネ減員：大里広域）
4. 1 掃除・洗濯請負契約締結（清風苑：深谷市シルバー）
4. 1 エアーマット購入 5 台（特養：やまもと企画㈱）
4. 1 歌声サロン川本送迎支援（深谷市川本地区協議体）
4. 1 支援委託契約書（特定機能外国人）（特養：MA GLOBAL）
4. 2 骨折事故報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
4. 6 退職手当共済 R5 年度掛け金納付対象職員提出 4 名（福祉医療機構）
4. 7 変更届出書提出（特養・短期・通所：運営規程変更：北部福祉）
4. 7 変更届出書提出（通所：運営規程変更：大里広域）
4. 10 電話設備更新工事（南関通信工業㈱）
4. 12～6. 6 職員定期健康診断（夜勤従事者）
4. 12 介護職員処遇改善支援補助金計画書提出（埼玉県）
4. 12 介護職員等処遇改善等処遇改善計画書提出（北部福祉）
4. 12 介護職員等処遇改善等処遇改善計画書提出（大里広域）
4. 12 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出（介護職員等処遇改善加算）
（特養・短期・通所）（北部福祉）
4. 12 介護予防・日常生活支援総合事業費算定に係る体制等に関する届出書提出（介護職員等処遇改善加算）（通所・総合事業）（大里広域）
4. 13 浴室換気扇更新（通所：田部井建設㈱）
4. 17 PHS 電話機更新 1 台（特養：南関通信工業㈱）
4. 29 特別養護老人ホームの入所希望者及びベッド調査提出（特養：県高齢者福祉課）
4. 30 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出（看護体制加算・看取り体制加算）
（短期）（北部福祉）
4. 30 派遣職員待遇指導調査来苑（特養：県労働局）
5. 3 骨折事故速報報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
5. 5 厨房他の害虫駆除実施（特養・デイ：（㈱ビルワーク）
5. 7 歌声サロン川本送迎支援（深谷市川本地区協議体）
5. 8 消防設備等（総合：清風苑）（機能：デイ）定期点検実施（㈱ビルワーク）
5. 8 福祉避難所指定状況の回答（市長寿福祉課）
5. 8 変更届出書提出（支援：ケアマネ減員：大里広域）
5. 8 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
（支援：特定事業所加算取下げ：大里広域）
5. 12 受水槽ポンプ更新工事（通所：（有）ヤジマメンテナンス）
5. 15 自家用電気工作物の年次検査実施（日本テクノ）
5. 21 派遣職員待遇指導是正状況報告書提出（特養：県労働局）
5. 23 自動車税減免申請（埼玉県自動車県税事務所：6. 8. 26 県税減免通知）
5. 23 軽自動車税減免申請（深谷市：6. 6. 5 市税減免通知）
5. 28 WiFi の LAN 対応工事（特養：南関通信工業㈱）
5. 31 骨折事故速報報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
5. 31 骨折事故報告書・再発防止策報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
6. 1 監事の監査実施
6. 7 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出 52 名（埼玉県社会福祉事業共助会）
6. 4 歌声サロン川本送迎支援（深谷市川本地区協議体）
6. 4 労働保険概算確定保険料申告書提出（電子申請）
6. 5 令和 6 年業務継続計画（BCP）策定状況調査提出
（特養・短期・通所：県高齢者福祉課）

- 6. 6 第 140 回理事会（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、定款変更、規則・規程の改定、定時評議員会の開催日程と議題の決定、その他・報告事項）
- 6. 8 居室窓ガラス交換(特養・つつじ：榎本サービス)
- 6.10 変更届出書提出(特養・短期：運営規程変更：北部福祉)
- 6.10 指定更新提出(短期(予防)：指定更新：北部福祉)
- 6.11 埼玉県災害派遣福祉チーム員登録情報確認書提出(特養 1 名登録削除：埼玉県)
- 6.11 固定資産税非課税規定適用除外申告書提出(すずかけ：深谷市資産税課)
- 6.11 自傷行為事故速報報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 6.15 洗面水栓交換(ショートステイ棟・居室もも)、スプリンクラー呼水槽ボールタップ、誘導灯交換(ピンク棟入口)(特養・短期：田部井建設㈱)
- 6.16 自動車保険契約（JA ふかや）
- 6.16 経済センサス基礎調査提出(総務省・経済産業省)
- 6.17 浴槽水の水質検査（清風苑・デイ：㈱熊谷環境分析センター）
- 6.17 高年齢者雇用状況・障害者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)
- 6.21 多様な働き方実践企業認定申請書提出(埼玉県)
- 6.22 第 78 回評議員会（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、定款変更、規則・規程の改定、その他・報告事項）
- 6.23 電子開示システム現況報告提出
- 6.25 資産の変更登記申請完了（さいたま地方法務局）
- 6.26 総合防災訓練(法人全体)
- 6.28 職員寮アンテナ引込柱枝木伐採(特養：㈱吉田電気工事)
- 6.29 賞与支払届提出(日本年金機構)
- 6.30 福祉医療機構事業報告提出
- 6.30 医務室空調更新交換(特養：有)ヤジマメンテナンス)
- 6.30 骨折事故報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 6.30 自傷行為事故報告書提出 1 件（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7. 3 賞与支払届決定通知受理（日本年金機構）
- 7. 4 歌声サロン川本送迎支援(深谷市川本地区協議体)
- 7. 4 算定基礎届提出(日本年金機構)
- 7. 8 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出（清風苑・デイ：熊谷保健所）
- 7. 9 算定基礎届決定通知受理（日本年金機構）
- 7.11 コロナ感染事故速報報告書提出(第 1 報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.12 コロナ感染事故速報報告書提出(第 2 報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.12～29 コロナ感染事故速報報告書提出(第 1 報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.15 コロナ感染健康観察票報告書提出（特養：熊谷保健所）
- 7.17 社会福祉法人定款変更届提出(深谷市)
- 7.17 公益法人の収支計算書（令和 5 年度）の提出書提出（熊谷税務署）
- 7.17 令和 5 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(埼玉県)
- 7.17 令和 5 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(大里広域)
- 7.19 コロナ感染事故速報報告書提出(第 4 報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.23 コロナ感染事故速報報告書提出(第 5 報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.29 コロナ感染事故速報報告書提出(終報)（特養：北部福祉・大里広域・深谷市）
- 7.31 社会福祉法人における経営力に関する調査提出(埼玉県経営協)
- 8. 1 変更届出書提出(支援：ケアマナ増員：大里広域)
- 8. 6 埼玉県環境 SDGs 取組宣言企業取組報告提出(埼玉県環境政策課)
- 8. 7 定期健康診断(夜勤従事者)結果報告書提出(熊谷労基署)
- 8. 7 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(支援：特定事業所加算：大里広域)
- 8. 8 パソコン更新 1 台(特養：㈱大塚商会)

- 8.20 定款変更認可(深谷市)
- 8.22 中間浴車椅子フットレスト修理(デイ：やまもと企画㈱)
- 8.26 非常用発電機バッテリー交換(特養：㈱吉田電気工事)
- 8.31 AED 設置(特養：㈱クオリティ)
- 8.31 変更届出書提出(支援：ケアマナ変更：北部福祉)
- 9. 3 共助会標準報酬基礎届(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 9.10 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(短期：看護体制加算と看取り連携体制加算取下げ：北部福祉)
- 9.12 社会福祉法人変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 9.18 冷蔵庫・冷凍庫(4 台)フィルター洗浄(特養：ホシザキ北関東㈱)
- 9.20 BCP 訓練実施(全事業所)
- 9.20 介護予防短期入所生活介護更新指定書受理(短期：埼玉県)
- 9.20 厨房休憩室空調更新交換(特養：(有)ヤジマメンテナンス)
- 10. 2 職員定期健康診断(深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 10. 2 利用者健康診断(特養・短期：深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 10. 2 共助会標準月額決定通知受理(埼玉県共助会)
- 10. 3 AED 救命講習会(深谷市消防署)
- 10. 4 骨折事故速報報告書提出 1 件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 4 介護職員処遇改善支援補助金実績書提出(埼玉県)
- 10. 5～10.18 ストレスチェック実施
- 10. 5 特別養護老人ホーム等の施設及び配置医師の状況等回答(県国保医療課)
- 10. 7 介護サービス施設・事業所調査回答(特養・短期：厚生労働省)
- 10. 9 社会福祉施設指導監査(特養・短期：通所：埼玉県・深谷市)
- 10.22 洗濯機・乾燥機更新(デイ：矢田電機商会)
- 10.23 ネットワーク HDD 設置工事(特養：南関通信工業㈱)
- 10.23 介護事業実態調査回答(特養：厚生労働省老健局)
- 10.25.26 給湯器更新 2 台(デイ：㈱関口商店)
- 10.28 特定技能受入・活動状況に係る届出書(第 3 四半期)提出
(特養：東京出入国在留管理局)
- 10.29 2025 年度 福祉機器(ベッド・眠り scan)の整備補助事業申請
(特養：公益財団法人 JKA)
- 11. 2・4 天窓補修工事(デイ：田部井建設㈱)
- 11. 5 事務室キャビネット更新(特養：(有)ソリドネーム)
- 11. 8 施設職員の勤務年数等に関する調査票提出(特養：県高齢者福祉課)
- 11. 6 消防設備等(機能：清風苑)(総合：デイ)定期点検実施(㈱ビルワーク)
- 11.10 受水槽定期清掃(清風苑・㈱ビルワーク)
- 11.10 受水槽定期清掃(デイ：㈱ビルワーク)
- 11.10 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ：㈱ビルワーク)
- 11.11 骨折事故速報報告書提出 1 件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 11.20 一般浴水栓交換(デイ：(有)ヤジマメンテナンス)
- 11.24 火災通報装置用バッテリー交換(デイ：㈱ビルワーク)
- 11.25 フードプロセッサ購入(特養：東海興商㈱)
- 12. 1 浄化槽定期清掃実施(㈱小嶋衛生社)
- 12. 5 骨折事故速報報告書提出 1 件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 12.11 賞与支払い届提出(電子申請)(日本年金機構)
- 12.12 賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.17 夜間通報訓練(全事業所)
- 12.23 車椅子寄贈 1 台(特養：㈱ツルハホールディングス、クラシエ㈱)
- 12.24 看護師等業務従事者届提出(特養・デイ：県保健医療部)
- 7.1. 1 特定技能受入・活動状況に係る届出書(第 4 四半期)提出

(特養：東京出入国在留管理局)

1. 7 職員用電動自転車(1台)購入(特養：カインズ)
1. 7 令和6年度(2024年度)医療機能情報定期報告(特養：熊谷保健所)
1. 8 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書提出(熊谷労基署)
1. 8 定期健康診断結果報告書提出(熊谷労基署)
1. 9 介護サービス情報の公表提出(通所：埼玉県)
1. 9 介護サービス情報の公表提出(支援：埼玉県)
1. 14 介護サービス情報の公表提出(特養：埼玉県)
1. 14 介護サービス情報の公表提出(短期：埼玉県)
1. 11. 12 樹木の伐採(特養・デイ：中島材木店)
1. 19 介護サービス事業者経営情報報告(全事業者：厚生労働省)
1. 19 インフル感染事故速報報告書提出(第1報)(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
1. 22 外灯タイマー交換(特養：㈱吉田電気工事)
1. 23 健康保険及び厚生年金保険の被保険者資格及び報酬等の調査(熊谷年金事務所)
1. 27 介護者教室(ワモア)
1. 27 共同募金受配物件処分報告書(包丁組板殺菌庫)提出(特養：埼玉県共同募金会)
1. 28 令和4年度消費税及び地方消費税に係る仕入控除税報告書提出(コロナ補助金)
(特養・短期：県高齢者福祉課)
2. 12 包丁組板殺菌庫更新(特養：関東調理機械(㈱))
2. 13 厨房混合水栓交換(特養：長沼設備)
2. 13 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
2. 16 職員寮洗濯機更新2台(特養：ベイシア電器)
2. 17 協力医療機関に関する届出書提出(特養：北部福祉事務所)
2. 21 協力医療機関変更届出書提出(特養：北部福祉事務所)
2. 21 特浴ストレッチャー修理(特浴：やまもと企画㈱)
2. 25 36協定届(熊谷労基署)
3. 3 地域交流スペース自動ドア修理(特養：フルテック)
3. 4 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(通所：サービス提供強化加算：北部福祉・大里広域)
3. 5 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(短期：身体拘束廃止未実施減算 基準型：北部福祉)
3. 10 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(通所：介護職員処遇改善加算Ⅰ：北部福祉・大里広域)
3. 17 職員用女子トイレ照明器具交換(特養：㈱吉田電気工事)
3. 13 第141回理事会(第1次補正予算、事業計画、予算、就業規則の変更、給与規程変更、個人情報保護規程の変更職員旅費規程の変更、理事長専決事項報告、役員賠償保険更新、評議員会の日時・開催場所・議題の決定、その他報告事項)
3. 22 第79回評議員会(第1次補正予算、事業計画、予算、就業規則の変更、給与規程変更、個人情報保護規程の変更職員旅費規程の変更、理事長専決事項報告、役員賠償保険更新、その他報告事項)
3. 27 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
3. 27 介護職員等処遇改善等処遇改善計画書提出(北部福祉)
3. 27 介護職員等処遇改善等処遇改善計画書提出(大里広域)
3. 28 就業規則変更届提出(熊谷労基署)
3. 28 衛生管理者変更届提出(熊谷労基署)

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防) 短期入所生活介護)

1. 総評

令和6年度は『利用者支援に繋げるために介護の基本に戻って一から考える』『職員のスキルアップによる良質なサービスの提供』『職員の定着』を軸とする目標を掲げ、支援を提供しました。

『利用者支援に繋げるために介護の基本に戻って一から考える』では必要に応じ個別ケアを実施することができました。今後の課題として、ケア担当者それぞれが前向きな活動となれる機会を増やします。また、業務上のコミュニケーション向上は徐々にケアに表れてきています。職員間のコミュニケーションをさらに深め、細かい部分でのやり取りを充実させていきたいと考えます。各部署・担当者が利用者を中心としたチームケアのレベルアップを目指し、チームケアの充実が利用者それぞれの生活実現になります。

『職員のスキルアップによる良質なサービスの提供』では、新任職員・中堅職員の育成を行ってきました。これは職員育成委員会が中心となり関わりましたが、途中から全職員が携わりを持つように変更し、順調に育成を進めることができました。今後の課題として、指導を受ける職員がスムーズな習得に向けて進められるようシステムの見直しを進めます。一方、資格取得や研修参加については予定通りに進められなかったところもあり、各職員が目標に向けて積極的に資格取得・研修参加へ取り組む意識と機会が課題となります。

『職員の定着』では、職員の定着＝環境の整った施設＝利用者が生活しやすい施設と考え、業務に努めました。これにより徐々に定着率は上がっています。また、ベトナムから特定技能職員を3名採用し2名の職員が夜勤業務まで進むことができました。介護福祉士取得を目指し、最終的には介護ビザを得て日本での暮らしを継続できるよう努力しています。しかしながら、欠員による職員募集は継続的に必要な状態です。年度末より職員への定期面談を取り入れ、それぞれの想いを活かした仕事となるよう取り組んでいます。

次年度はこれら取り組みをふまえ、チームアプローチに目を向け、質の高いケアを提供できるよう取り組んでいきます。

2. 各会議・各委員会報告

【事故防止委員会】年間目標：事故を「0」にする

達成…事故を減らすことは出来なかったが、ヒヤリハットを簡素化し活用することでヒヤリを多く挙げ、事故に繋がらないよう意識することができました。また、意識するだけでなく、申し送り等で事故やヒヤリハットの内容を発信することもできました。

未達成…事故の検証が不十分で再発防止策をきちんと評価することができず、同様の事故が続いてしまいました。

課題…事故検証を徹底し、事故原因が曖昧なものは追究を行う事で同様の事故を無くし、委員以外も事故に繋がらないよう常に意識した業務とします。

【環境委員会】年間目標：利用者の生活しやすい環境作り

達成…委員他職員にも促しをおこない、ベッド周りを中心に整えました。週間業務であったポータブルトイレ洗浄は人数不足により圧迫されていましたが、夜勤明けの業務を見直して組み込むことで、居室内のにおいも軽減することができました。

未達成…エリア担当の掃除や整理が不十分です。

課題…見た目の環境だけでなく、タンスや床頭台の中など見えない部分の整理整頓も行う。

【身体的拘束等委員会】年間目標：身体拘束「0」を目指す

達成…会議や研修を通じて身体拘束とは何かを学び、理解を深めました。身体的拘束自体を無くすことはできませんでしたが、拘束等を外す時間を増やすことができました。

未達成…特定の利用者は身体拘束を外すことができず、外す時間を増やすこともできませんでした。

課題…身体拘束時間の短縮、身体拘束「0」

【虐待防止委員会】目標：虐待の件数「0」

達成…件数 0 件は達成できた。また、スピーチロックや不適切な言葉を使用している職員には「どうして使用してはいけないのか」と理由も含め話し合うことができました。

未達成…虐待の認識を深めることができませんでした。その為、動きのある利用者に対しスピーチロックに繋がる言葉や、友達のな口調、地元言葉が出てしまう等、早く理解してほしいという気持ちが態度に出てしまうことがありました。

課題…スピーチロックを廃止する為の取り組みの継続。イラつきや焦りのある職員に気が付いたら見過ごさず、間に入って支援をしたり話を返したり対応を行う。

【苦情解決委員会】年間目標：苦情の件数「0」

達成…虐待防止委員会を通じて適切ケアや不適切ケアを理解し、相手の気持ちを汲みながら関わる事の意識づけを行うことができた。

未達成…苦情報告 1 件（利用者より）

苦情内容：職員の言い方・態度に対して苦情となる。

決まりや指示だけに囚われず、相手の気持ちを汲んだ関わり方が重要。

課題…自分の意思を伝えづらい利用者の気持ちを汲み取る

【ショート受入れ委員会】年間目標：①在宅生活を継続するためのサービス（ご家族の負担軽減・本人の残存機能維持）の為、本人の様子を把握し、ご家族からの意思や生活状況と合わせて支援していく。②アセスメントの更新を担当職員中心に見直しを行う。③レクリエーションの充実

達成…担当職員が中心となり情報収集を行う事で利用者の様子を把握し、自宅での生活状況に合わせて支援することができました。また、アセスメント表の見直しを随時行い発信した事で、状態変化等も全体に周知することができました。

未達成…利用者状況によりショート棟対応職員だけでは手が足りず、対策も不十分だった為に、同様の事故が複数回発生してしまいました。レクリエーションも同様で、行えた日と行えない日の差ができてしまい、充実には至りませんでした。また、利用者の私物紛失の対応が不完全なため、返却するのに時間を要してしまい、迷惑をかけてしまう事が見られました。

課題…利用者の私物紛失予防法の検討。レクリエーション時間の変更等も含む、充実させるための検討。

【職員育成委員会】年間目標：職員定着の為、育成を通して協力関係を築ける環境と整える

達成…業務習得表と引き継ぎノートを活用し、スムーズに進められました。併せて、中堅職員の業務を深めることができました。

未達成…新任職員に課題と目標の説明が不十分だった為、目安となる習得時期を共有することができなかった。

課題…課題の目標と期間を共有する事で、指導する側、される側の方向性を明確化する

【生産性向上委員会】

達成…利用者の安全、介護サービスの質の確保、職員の負担軽減の為に、ベッド周りの見守り機器やタブレットの使用等テクノロジーを検討し導入することができました。

未達成…インカムの導入等調整中、今後、使用したことのないテクノロジー機器は率先して検討し、利用者の安全、効率的な業務となるよう進めていきます。

【広報委員会】

広報誌『清風苑ニュース』の定期発行とブログを継続し、施設での生活の様子を紹介しました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

令和6.4.19 職場でのコミュニケーション（法人内安全衛生委員会：11名）

4.26 身体拘束廃止①（施設内研修：23名）

4.26 高齢者虐待防止①（施設内研修：23名）

5.17 熱中症・感染症及び食中毒防止について（法人内安全衛生委員会：13名）

5.27 感染予防基礎『熱中症・感染及び食中毒防止について』（施設内研修：22名）

- 5.27 倫理及び法令遵守（施設内研修：22名）
- 6.21 職場環境改善『ワークライフバランス』（法人内衛生委員会：13名）
- 6.24 事故防止①『浴室においての実施含む』（施設内研修：19名）
- 7.19 危険個所の確認、KY（危険予知）訓練（法人内安全衛生委員会：11名）
- 8.16 感染症及び食中毒防止について（法人内安全衛生委員会：12名）
- 8.19 緊急時対応について『マニュアル：急変時の対応』（施設内研修：22名）
- 8.19 排泄ケア研修（施設内研修：22名）
- 8.19 食中毒予防（施設内研修：22名）
- 8.19 認知症研修（施設内研修：22名）
- 8.11 安全対策担当者養成研修（全国老人福祉施設協議会：1名）
- 8.19 安全対策担当者養成研修（全国老人福祉施設協議会：1名）
- 8.22 安全対策担当者養成研修（全国老人福祉施設協議会：1名）
- 9.20 ストレスチェックについて（法人内安全衛生委員会：12名）
- 9.30 褥瘡予防と対策研修（施設内研修：23名）
- 9.30 口腔衛生管理研修①（施設内研修：23名）
- 10.7・8・14・15 介護福祉士実習指導講習会（専門学校高崎福祉医療ガレッジ：1名）
- 10.15 看護職員研修会（埼玉県老人福祉施設協議会：1名）
- 10.18 通勤時の災害防止について（法人内安全衛生委員会：12名）
- 10.28 ターミナルケア（施設内研修：17名）
- 11.1 介護支援専門員研修会（埼玉県老人福祉施設協議会：1名）
- 11.7 中堅職員向け交流研修会（埼玉県福祉部高齢者福祉課：1名）
- 11.15 感染症及び食中毒防止について（法人内安全衛生委員会：11名）
- 12.23 事故防止②（施設内研修：19名）
- 12.23 排泄ケア研修（施設内研修：19名）
- 令和7.1.17 危険個所の点検実施・報告（法人内安全衛生委員会：13名）
- 2.21 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止の為の研修会（法人内安全衛生委員会：12名）
- 2.25 高齢者虐待防止②（施設内研修：21名）
- 2.25 ノロウイルス等感染症研修（施設内研修：21名）
- 3.19 福祉用具研修会（集合型）（社会福祉協議会：1名）
- 3.21 安全衛生委員会の再確認と次年度計画（法人内安全衛生委員会：12名）
- 3.31 口腔衛生管理研修②（施設内研修：16名）
- 3.31 身体拘束廃止②（施設内研修：16名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日 数
R7. 2. 3～3. 6	かな福祉専門学校	1	23
合 計		1	23

5. ボランティア活動状況

月	団 体		個 人		合 計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	・いなほ会
5	1	14	0	0	1	14	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	1	13	0	0	1	13	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	2	27	0	0	2	27	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	お花見会 (20)
5	開苑記念日 (69) 日帰り外出 (23)
6	出前行事<シャトレゼ> (70) 外気浴 (25)
7	七夕会 (68)
8	夏祭り (47)
9	長寿をお祝いする会 (70) 運動会 (70)
10	お饅頭作り (70) ハロウィンおやつパーティー (69) 日帰り外出 (39)
11	焼き芋大会 (72)
12	忘年会 (69) クリスマス会 (70) 餅つき (75)
1	新年会<初詣>インフルエンザの為、中止
2	節分 (70) バレンタインデー (67) 出前行事<シャトレゼ> (67)
3	ひな祭り (70) ホワイトデー (72)

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議 (A) 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体的拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
5	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議 (B) 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体的拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
6	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議 (C) 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体的拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会

	外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 総合防災訓練（地域・地震・通報・避難・消火）
7	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（A） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 感染症BCP研修
8	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（B） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
9	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（C） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 BCP訓練 口腔衛生管理研修
10	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（A） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 施設指導監査
11	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（B） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
12	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（C） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 総合防災訓練（夜間緊急通報訓練）
1	運営会議 特養運営 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（A） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
2	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（B） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解決委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会
3	特養会議 運営会議 喀痰吸引安全衛生委員会 褥瘡対策委員会 給食委員会 安全衛生委員会 特養運営会議 入所検討委員会 ケース会議（C） 事故防止委員会 環境委員会 苦情解説委員会 虐待防止委員会 身体の拘束適正化委員会 ショート受入れ委員会 職員育成委員会 外国人受け入れ委員会 生産性向上委員会 口腔衛生管理研修

8. 利用者状況 <令和6年度に関する以外は令和7年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居

定員50名 現在員50名(男性16名 女性34名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～105	計
男性	1	2	3	0	0	4	5	1	0	16
女性	0	1	2	4	3	8	7	8	1	34
計	1	3	5	4	3	12	12	9	1	50

※最高年齢男性 96歳 3ヶ月 ※最若年齢男性 64歳 2ヶ月 ※平均年齢男性 82.4歳
女性 100歳 3ヶ月 女性 69歳 3ヶ月 女性 87.1歳

総平均 85.6歳

(3) 利用期間 (令和7年4月1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	5	6	11	9年～10年未満	0	2	2
6ヵ月～1年未満	3	4	7	10年～11年未満	0	1	1
1年～2年未満	1	9	10	11年～12年未満	0	0	0
2年～3年未満	3	3	6	12年～13年未満	0	0	0
3年～4年未満	2	4	6	13年～15年未満	0	1	1
4年～5年未満	2	3	5	15年～17年未満	0	0	0
5年～6年未満	0	1	1	17年～19年未満	0	0	0
6年～7年未満	0	0	0	19年～21年未満	0	0	0
7年～8年未満	0	0	0				
8年～9年未満	0	0	0	合 計	16	34	50

※最短利用期間 0ヵ月間 ※最長利用期間 13年 2ヵ月間 ※平均利用期間 2年 9ヵ月間

(4) 要介護度 (令和7年4月1日現在) *平均介護度 3.8

要介護区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男 性	0	1	7	4	4	16
女 性	0	1	12	10	11	34
計	0	2	19	14	15	50

(5) 入所申込状況 (入所検討委員会) () は見直し

	男	女	計
令和6年4月30日	0	2	2
5月28日	0	3	3
6月25日	1	1	2
7月30日	0	1	1
8月27日	0	5	5
9月24日	0	3	3
10月29日	1	0	1
11月26日	1	0	1
12月24日	1	1	2
令和7年1月28日	1	1	2
2月25日	0	2	2
3月25日	3	0	3
合計	8	19	27
令和7年4月1日待機者	8	9	17

(6) 月別利用者状況 () は再掲：緊急措置入居 年間利用率 97.8%

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数(在籍)A	50	50	48	48	48	49	50	49	50	50	49	49	
月中新利用者数B	1	1	3	0	3	2	0	1	3	3	2	1	20
月中退所者数C	1	3	3	0	2	1	1	0	3	4	2	1	21
月中入院者数D	0	2	1	0	0	0	1	2	0	1	1	1	9
月末入院者数E	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	1	6
月末日利用者(実数)F=A+B-C	50	48	48	48	49	50	49	50	50	49	49	49	
延べ利用者数	1,459	1,500	1,460	1,488	1,525	1,489	1,536	1,462	1,540	1,536	1,366	1,479	17,840

(7) 市町村別入退所者状況 () は再掲：緊急措置入居

市町村	令和7年4月1日			令和6年4月1日～ 令和7年3月31日			入院・入所・退所状況 ※(HP)…入院中
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	9	19	28	64	10	12	(入所) 5/19 6/7 6/17 8/5 8/8 9/30 12/15 1/11 2/7 3/25 (退所) 5/25 6/30 8/4 8/14 10/31 12/3 12/14 1/3 1/10 1/24 2/6 2/23 (入院) 6/4～6/17 (14) 10/18～11/11 (25) 11/24～12/3 (10) 3/16～4/8 (15)
熊谷市	2	2	4	10	1	1	(入所) 1/4 (退所) 4/28 (入院) 5/5～5/24 (10)
寄居町	2	10	12	69	7	5	(入所) 4/2 6/15 8/2 9/12 11/16 12/15 2/7 (退所) 5/18 5/26 6/14 12/12 3/12 (入院) 3/23～5/7 (37) 5/10～5/21 (12) 11/11～11/15 (5) 1/23～1/29 (7) 2/5～3/12 (8)
小川町	0	3	3	0	1	2	(入所) 12/9 (退所) 6/25 1/13
東松山市	1	0	1	－	－	－	
飯能市	1	0	1	－	－	－	
吉見町	－	－	－	11	0	1	(退所) 9/29 (入院) 3/19～4/11 (11)
板橋区	1	0	1	0	1	0	(入所) 1/14
計	16	34	50	154	20	21	

(8) 利用者の身体状況（令和7年4月1日現在）

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利 用 者 状 況							
移動介助	3	6	41	使用機種	車イス 22 名、リクライニング 18 名、歩行器 7 名						
食事介助	25	14	11	食事場所	食堂 48 名、居室 2 名（内、経管者 2 名）						
排泄介助	0	19	31	おむつ 使用者数	人 数		定 時		随 時		
				常時の者		30		3 回		8 回以上	
				夜間のみ者		9		1 回		1 回以上	
入浴介助	0	18	32	使用浴槽	一般浴 2 名・器械浴 32 名・リフト浴 16 名						
着替介助	3	16	31	毎日着替	要介助 0 名、 自力 0 名						
体位交換介助	10	11	29	介助者の 状況	人 数		定 時		随 時		
				褥瘡者		2		3 回		1 人	
				その他		9		3 回		13 人	
障害老人の日常生活自立度	自立	J 1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2		
	0	1	2	3	15	9	18	1	1		

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数						
意思疎通不能者数	1	原因疾患	機能的障害 1 名、精神的障害 2 名					
認知性老人者数	49	認知症度数	重度 1 名、中度 41 名、軽度 7 名					
知症老人の日常生活自立度	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M
	1	3	4	4	29	8	1	0

(9) 常食給与栄養摂取量（1人平均）

種 目	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール μg	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1 日必要 摂取量	1,543	52.7	32.6	635	6.3	699	1.0	1.1	100	6.8
4 月	1,573	52.7	54.2	661	11.6	812	1.90	1.15	102	8.3
5 月	1,532	52.2	50.3	682	11.3	889	1.88	1.16	101	8.2
6 月	1,587	52.3	57.2	667	11.5	817	1.84	1.11	105	7.9
7 月	1,588	51.4	54.9	692	11.5	878	1.86	1.16	103	8.4
8 月	1,592	51.1	55.7	677	11.2	852	1.75	1.12	93	8.5
9 月	1,583	50.9	55.6	677	11.2	838	1.74	1.12	93	8.2
10 月	1,567	51.5	55.1	662	10.9	875	1.78	1.14	91	7.9
11 月	1,569	51.7	55.4	677	11.3	833	1.72	1.13	77	7.9
12 月	1,557	49.4	54.4	651	10.9	870	1.81	1.12	73	8.2
1 月	1,570	50.5	54.5	684	11.1	860	1.78	1.11	79	8.0
2 月	1,554	49.5	54.3	667	11.4	861	1.76	1.09	79	8.2
3 月	1,527	50.5	51.9	672	11.1	831	1.73	1.09	93	7.8
平 均	1,567	51.1	54.5	672	11.3	851	1.80	1.13	91	8.1

(10) 短期入所生活介護事業実績：() は予防介護の再掲 * 1日平均利用率 20.5人

区	深谷市		小川町		寄居町		熊谷市		小 計	
月	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	25	493	0	0	7	114	0	0	32	607
5	28	508	1	3	7	123	0	0	36	634
6	28	437	1	3	9	130	1	30	39	600
7	20	431	0	0	5	100	2	14	27	545
8	29	486	1	3	8	129	1	31	39	649
9	32	501	1	5	5	105	1	30	39	641
10	31	525	1	7	7	109	1	31	40	672
11	29	532	1	12	8	108	1	30	39	682
12	28	526	0	0	7	94	1	31	36	651
1	27	470	0	0	5	78	1	3	33	551
2	24	410	0	0	7	91	0	0	31	501
3	26	498	1	11	7	112	0	0	34	621
計	327	5,817	7	44	82	1,293	9	200	425	7,354

区	板橋区		小計		合計	
月	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	0	0	0	0	32	607
5	0	0	0	0	36	634
6	0	0	0	0	39	600
7	0	0	0	0	27	545
8	0	0	0	0	39	649
9	1	26	1	26	40	667
10	1	31	1	31	41	703
11	1	30	1	30	40	712
12	1	31	1	31	37	682
1	1	13	1	13	34	564
2	0	0	0	0	31	501
3	0	0	0	0	34	621
計	5	131	5	131	430	7,485

深谷市デイサービスセンター清風苑 （介護予防・日常生活支援総合事業）通所介護）

1. 総評

令和6年度は、IADL支援と利用者の健康寿命延長を目的に、多様なニーズに対応しました。

機能訓練では3か月ごとの体力測定を基に、利用者個々に必要な訓練を提供しました。機能訓練エリアに隣接するリラクゼーションコーナーへ電機足湯器を2台設置し、運動とリラクゼーションの両立を図りました。担当ケアマネージャーへ月例報告し、利用者状態の共有に努めました。

コロナ禍を経て約4年ぶりにいちご狩り外出を実施しました。外出では楽しみながら金銭管理を養うことができる取り組みとしました。毎月実施した季節風呂では、季節を感じながら爽快感と満足感を得ていただきました。

敬老会や師走フェアなどの一大イベントでは、ボランティア催しにより日常の中に更なる楽しさを提供出来ました。

運営状況では、新型コロナウイルス陽性者の発生による利用自粛の影響を受け、利用率の低下が見られました。

業務状況では、提供表取り込みと実績送付の作業をデータ化、新規利用者のフェイスシート作成においていずれもワイズマンASPサービスを活用しデータ管理としました。一部の利用者についてはLIFEとデータ連携することで、業務効率向上に繋がられました。

入浴介助加算の算定要件では、入浴介助に関する研修実施が義務付けられました。年2回の研修実施をし、技術の研鑽に努めました。

次年度においても職員個々の役割を最大限に発揮し、利用者の在宅生活を支えてまいります。

2. 各会議・委員会報告

【デイ会議・ケース会議】

デイ会議では、3ヶ月毎に実施した虐待防止委員会において、虐待の早期発見と虐待に至る要因について職員間共有しました。また法定研修では「入浴介助」を新たに実施し、介助方法や浴室における危険箇所等の確認をし、日々の入浴介助に活かせるよう取り組みました。会議の時間帯については、引き続き業務時間内に実施しました。

ケース会議は、PDCAサイクルに基づき適切に実施しました。またLIFEフィードバック情報の全国指標値を適宜確認し、プラン作成時の検討材料としました。要支援度及び要介護度の推移では、全国値と比較すると改善傾向であり、障害高齢者と認知症高齢者の日常生活自立度は横ばいで推移していました。この情報を基に、ケアプランの内容が利用者状態の維持に繋がっていることを職員間で共有しました。

【委員会】

業務向上委員会では、パソコンやタブレットを活用し、業務内時間内での記録を徹底、時間外作業はゼロを実現しました。利用実績と提供票情報をデータ連携、利用者情報とLIFEのデータ連携を推進し、業務効率向上に繋がられました。

安全対策委員会では、年間の事故発生件数14件と、前年と比較し5件減少しました。内訳は転倒8件、送迎時における接触等2件、異物混入1件、外傷1件、歩き出し2件でした。転倒については、骨折に繋がる重大な事故はありませんでしたが、機能訓練における散歩時等長い距離の移動については、マンツーマン対応を継続しました。送迎時における接触では、利用者の敷地内宅で接触する器物破損でした。いずれも軽度の接触でしたが、後方の確認や運転手や介助職員との連携が不十分であったため、連携強化を図り再発防止に努めました。

広報委員会では、毎月のデイサービスだより白鳥の発行とブログの定期更新により、広くデイサービスの情報を発信しました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 6. 4. 25 法令遵守・倫理に基づく研修（事業所内：10名）
- 4. 26 高齢者虐待防止研修（事業所内：9名）
- 5. 31 プライバシー保護に関する研修（事業所内：8名）
- 6. 17 食中毒予防研修（事業所内：8名）
- 7. 18 安全対策担当者養成研修（全国老人福祉施設協議会：1名）
- 7. 26 安全運転、緊急時対応に関する研修（事業所内：7名）
- 7. 26 高齢者虐待防止研修（事業所内：8名）
- 8. 20 入浴介助に関する研修（事業所内：9名）
- 10. 21 高齢者虐待防止研修（事業所内：7名）
- 10. 23 高齢者施設向け虐待防止研修（埼玉県：1名）
- 10. 29 令和6年度デイサービス部会研修（埼玉県老人福祉施設協議会：1名）
- 11. 15 地域ケアマネジメント向上会議（大里広域市町村圏組合：1名）
- 12. 25 身体拘束廃止に関する研修（事業所内：7名）
- 7. 1. 27 高齢者虐待防止研修（事業所内：9名）
- 2. 27 バーセルインデックス評価研修（全国老人福祉施設協議会：1名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
9/9～9/13	介護等体験	1	5
12/5～12/7	川本中学校社会体験チャレンジ	2	3
合 計		3	8

5. ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	1	4	0	0	1	4	朗読クラブひまわり アロハフラサークル 重忠節同好会 寄居彩の会（日本舞踊） ウクレレ笑歌会
5	1	4	0	0	1	4	
6	1	5	0	0	1	5	
7	1	5	0	0	1	5	
8	1	4	0	0	1	4	
9	5	41	0	0	5	41	
10	1	4	0	0	1	4	
11	1	3	0	0	1	3	
12	3	31	1	1	4	32	
1	1	5	0	0	1	5	
2	1	3	0	0	1	3	
3	1	4	0	0	1	4	
合計	18	113	1	1	19	114	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	季節の湯：さくら (88) 年中行事：いちご狩り外出 (29) 調理レク：桜餅 (14) 創作活動：こいのぼり (41) 次月カレンダー制作 (35)
5	季節の湯：菖蒲 (57) 園芸活動：さつま芋植え (12) 夏野菜植え (15) ジャガイモ収穫 (14) 調理レク：あんこ巻き (18) キャベツフライ (21) 創作活動：カーネーション作り (13) 次月カレンダー制作 (54)
6	季節の湯：バラ (97) 園芸活動：保育園児ジャガイモ収穫 (8) 調理レク：ツナポテト作り (18) 水ようかん (20) 創作活動：かたつむり作り (14) 次月カレンダー制作 (51)
7	季節の湯：ラベンダー (88) 季節行事：ドリンクバー 7/15～ 冷や汁フェア4日間 (97) 調理レク：白玉あんみつ (23) 創作活動：七夕飾り作り (5) 次月カレンダー制作 (49)
8	季節の湯：ミント (80) 季節行事：ドリンクバー ～8/31 調理レク：かき氷2日間 (38) 牛乳寒天 (22) 創作活動：次月カレンダー制作 (53) ひまわり工作 (16)
9	年中行事：敬老会6日間 (128) 創作活動：次月カレンダー制作 (60)
10	季節の湯：しょうが (91) 調理レク：ホットケーキ (24) プリン (21) 園芸活動：デイさつまいも収穫 (6) 保育園児さつまいも収穫見学 (13) 創作活動：次月カレンダー制作 (65)
11	季節の湯：みかん (104) 季節行事：焼いも大会 ※天候不良の為利用者参加なし 調理レク：さつまいもフライ (28) さつまいも蒸しパン (26) 創作活動：クリスマスリース作り (28) 次月カレンダー制作 (72)
12	季節の湯：ゆず (103) 年中行事：師走フェア6日間 (122) 餅つき大会 (18) 調理レク：クリスマスケーキ作り2日間 (38) 創作活動：次月カレンダー制作 (70)
1	季節の湯：松 (93) 季節行事：書き初め5日間 (38) 調理レク：白玉団子でお汁粉作り (22) ホットケーキ (18) 創作活動：鬼のお面作り (55) 次月カレンダー制作 (81)
2	季節の湯：レモン (97) 季節行事：節分豆まき (20) 調理レク：チョコ蒸しパン (20) キャベツフライ (16) 創作活動：ひな人形作り (37) 次月カレンダー制作 (51)
3	季節の湯：よもぎ (80) 調理レク：桜どら焼き (15) チョコブラウニー (18) 園芸活動：デイジャガイモ植え (4) 南保育園ジャガイモ植え見学 (5) 創作活動：桜の工作 (30) 次月カレンダー制作 (45)

7. 業務報告

月	内 容
4	高齢者虐待防止委員会 次月月間活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
5	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
6	法人総合防災訓練（地震・避難・消火） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
7	高齢者虐待防止委員会 デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
8	個別ケア活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
9	B C P 総合訓練（地震・避難・発電機運転） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
10	埼玉県福祉部福祉監査課：運営指導 高齢者虐待防止委員会 深谷市福祉健康祭り デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
11	幡羅小学校総合学習（車椅子体験） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
12	夜間通報訓練 デイサービス満足度調査実施 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
1	高齢者虐待防止委員会 利用者フェイスシートデータ管理 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
2	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会
3	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 広報委員会 デイサービス総合防災訓練（地震・避難・消火訓練）

8. 利用者状況

※令和6年度に関する以外は、令和7年4月1日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 64 名 (男性 14 名・女性 50 名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	～ 59	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～	計
男性	0	0	0	1	1	3	4	3	0	2	14
女性	0	0	0	0	4	7	17	14	5	3	50
計	0	0	0	1	5	10	21	17	5	5	64

(3) 要介護度

平均支援度 1.6 平均介護度 2.4

区分	事業対象	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	計
男性	1	2	1	2	3	5	0	0	14
女性	2	2	6	14	10	6	6	4	50
計	3	4	7	16	13	11	6	4	64

(4) 利用事由（重複あり）

	男性	女性	計
日中独居	5	23	28
家庭での入浴困難	7	21	28
独り暮らし	4	10	14
他者との交流	4	32	36
介護者の負担軽減	8	29	37
心身の機能維持	12	37	49
認知症の進行予防	9	38	47
計	49	190	239

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	5	1	3	0	3	2	4	5	4	3	1	2	33
終了	2	3	0	1	1	0	2	3	4	4	2	4	26

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
登録者数	57	60	59	61	62	62	—
延利用者数	548	604	554	620	531	528	3,385
(総合事業)	82	98	78	80	61	69	468
(介護)	466	506	476	540	470	459	2,917
運営日数	26	27	25	27	27	25	157
1日平均利用者数	21.1	22.4	22.2	23.0	19.7	21.1	21.6
昼食提供数	548	604	554	620	531	528	3,385
送迎回数	1,089	1,190	1,096	1,232	1,056	1,044	6,707
入浴回数	420	435	398	464	406	396	2,519

(後期) 10月～3月

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総合計
登録者数	64	67	69	69	68	66	—
延利用者数	569	566	484	497	465	440	6,406
(総合事業)	77	80	69	71	76	78	919
(介護)	492	486	415	426	389	362	5,487
運営日数	27	26	24	24	24	26	308
1日平均利用者数	21.1	21.8	20.2	20.7	19.4	16.9	20.8
昼食提供数	569	566	484	497	465	440	6,406
送迎回数	1,129	1,117	959	982	918	872	12,684
入浴回数	443	453	398	415	392	373	4,993

(7) 地域別登録者

地区	深谷市	熊谷市	寄居町	小川町	合計
男	9	2	3	0	14
女	37	5	7	1	50
計	46	7	10	1	64

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者）
深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

1. 総評

令和6年度には介護保険の法改正があり、その対応に苦慮した面もありましたが、保険者への問い合わせや深谷市介護支援専門員連絡協議会での勉強会に参加するなど、介護支援専門員としての資質の向上や理解に努めて参りました。そのほか、知識向上のためにも研修や事例検討にも参加しました。

地域包括支援センターや病院、近隣の方々等、各方面から相談をいただきましたが、職員体制の関係上お断りをすることもありましたが、生活困窮や家族支援、看取りなどの支援困難ケースは喫緊の対応が必要と判断し、できる限り対応するよう努めてきました。

事業所内でもケースの情報共有を図り、主治医との会議も再開しました。各々のケースで、必要なニーズをとらえ、ご利用者様が安心して在宅生活が送れるよう心掛けてきました。

地域連携としては、地域ケア会議や医師会主催の研修など、多職種との連携を図り、それぞれの立場を理解し、業務に活かせるよう努力もしてきました。家族介護教室を開催し、参加者からは好評でした。地域支え合いも引き続き参加し、地域の実情の把握や連携を図っていきました。

2. 各会議・委員会報告

（1）各会議

①支援センター会議

運営会議の内容情報共有を行い、支援センターの運営に盛り込む事ができました。

②利用者情報サービス連携会議

各担当の利用者の変化を共有し、支援の進捗状況や地域の事業者など新たな社会資源になるサービスについての共有、保険者や厚労省からの通達の共有、インフォーマルサービスの共有も図れました。

③主治医との会議

定期的に委託医と話し合いを持ち、そのほか緊急性のある場合は早急に相談することができ、情報共有の場が持てました。

（2）委員会

①虐待防止に関する研修や虐待防止委員会の開催

支援センター会議内で虐待に関する基礎知識、対応の仕方等の研修や、実態把握を行いました。

②感染症、災害時における業務計画（BCP）

施設内の研修や会議を含め、深谷市介護支援専門員連絡協議会内でも研修等を行い、事業所内で共有しました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

6. 4. 20 令和6年度介護保険の法改正について（支援センター：3名）

6. 5. 21 第1回深谷市介護支援専門員連絡協議会

（深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名）

6. 5. 22 感染症の予防及びまん延防止のための研修

高齢者虐待防止研修（支援センター：3名）

6. 6. 18 第1回 深谷南部介護支援専門員交流会（包括ふじさわ苑：2名）

6. 6. 29 支援困難ケース（カスタマーハラスメント）について検討

（支援センター：2名）

6. 7. 16 第2回 深谷市介護支援専門員連絡協議会

令和6年度制度改正における注意点～居宅介護支援～

（深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名）

6. 8. 20 第1回 主任ケアマネ部会座談会（深谷市介護支援専門員連絡協議会：1名）

6. 9. 17 第3回 深谷市介護支援専門員連絡協議会
高齢者虐待について・ハラスメントについて
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
6. 9. 18 第2回 深谷南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑：3名)
6. 9. 20 高齢者虐待防止について (支援センター：3名)
6. 9. 25 地域ケア会議 (包括ふじさわ苑：1名)
6. 10. 3 在宅緩和ケア連携推進多職種研修会 事前会議 (医師会：1名)
6. 10. 21 災害時における業務継続計画 (BCP) (支援センター：2名)
6. 10. 31 在宅緩和ケア連携推進検討会 研修 (医師会：2名)
6. 11. 19 第4回 深谷市介護支援専門員連絡協議会
成年後見制度について (深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
6. 11. 20 生活困窮者に関する事例検討 (支援センター：2名)
6. 11. 21 地域ケア会議 (包括社協：1名)
6. 12. 13 第3回 深谷南部圏域介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑：2名)
6. 12. 20 居宅介護支援 運営指導 (大里広域市町村圏組合：2名)
6. 12. 23 認知症及び認知症ケアに関する研修 (支援センター：2名)
6. 11. 29 12. 5 令和6年度埼玉県介護支援専門員実習指導者研修 [ZOOM]
(一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会：2名)
7. 1. 29 大里広域市町村圏組合 (深谷市) 認知症初期集中支援チーム検討委員会
(大里広域市町村圏組合：1名)
7. 1. 21 第5回 深谷市介護支援専門員連絡協議会
感染症について・災害時の対応について
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
7. 2. 26 ACP普及啓発教室 (深谷市：岸本)
7. 3. 11 地域ケアマネの会懇談会 [ZOOM] (埼玉県地域包括ケア支援部：1名)
7. 3. 17 第6回 深谷市介護支援専門員連絡協議会
(深谷市介護支援専門員連絡協議会：2名)
7. 3. 26 地域ケア会議 (包括ふじさわ苑：1名)

4. 業務報告

月	内 容
4	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会) 主治医とのサービス担当者会議
5	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会) 主治医とのサービス担当者会議
6	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会) 総合防災訓練
7	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会)
8	支援センター会議 主治医とのサービス担当者会議 (苦情虐待防止委員会)
9	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会) 主治医とのサービス担当者会議 BCP 総合訓練
10	支援センター会議 利用者情報サービス連携会議 (苦情虐待防止委員会) 主治医とのサービス担当者会議
11	支援センター会議 主治医とのサービス担当者会議 (苦情虐待防止委員会)

12	支援センター会議 夜間通報訓練 運営指導（大里広域）
1	支援センター会議 主治医とのサービス担当者会議（苦情虐待防止委員会） 家族介護教室（1/27）於：ワモア川本 テーマ：介護亭楽珍氏による介護落語 参加人数：48名（家族：39名 市役所職員：1名 職員：8名）
2	支援センター会議 主治医とのサービス担当者会議（苦情虐待防止委員会）
3	支援センター会議 主治医とのサービス担当者会議（苦情虐待防止委員会） 介護支援専門員実務研修実習生2名受け入れ（3/3～3/27：各実習生3日間） デイサービス防災訓練

5. 利用者状況

（1）相談件数

相談件数	42 件
居宅依頼件数	25 件
終了件数	15 件

（2）サービス実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認定調査 件数	4	4	1	2	2	5	3	3	3	2	5	3
サービス 利用件数	103	91	84	84	79	86	91	90	93	86	89	84

認定調査合計 37 件

サービス利用件数平均 88.3 件/月

（3）利用者年齢構成 [令和7年4月1日現在]

男女比 4 : 6 最高年齢：102 歳 最低年齢：67 歳

	64 歳 以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳 以上
年齢別	0	2	9	15	21	16	14	5	2
男性	0	1	3	8	9	6	1	1	1
女性	0	1	6	7	12	10	13	4	1

（4）利用者要介護状況 [令和7年4月1日現在]

平均介護度 1.8

	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
介護別	0	7	7	28	19	11	9	3
男性	0	5	1	12	10	2	0	0
女性	0	2	6	16	9	9	9	3

生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

1. 総評

令和6年度の支援要請は、計1件でした。夫の入院費、光熱費等の多重債務が原因でライフラインの停止が予告されていたため、現物支給にて困窮状態を回避しました。その後、年金収入の中で債務支払いを行いながら生活を継続されており初回完結となりました。その他、セブンイレブン SAITAMA プロジェクトからの寄贈（食料・雑貨）11箱を独居高齢者への支援と地域の子ども食堂へ支援いたしました。今後、セーフティネット希望者も増加傾向にあるため要支援者の力になれるよう支援活動に努めます。

また、ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進連絡会では、フードパントリー事業（11/11～11/30）への協力、買い物送迎支援の計画実施等の活動計画も進んでいます。できる限り地域の日常生活支援に繋がるよう協力していきます。

2. 相談状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30 歳代	0
40～50 歳代	0
60～70 歳代	0
80 歳～	1
合 計	1

(2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	2
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	2

(3) 相談内容の主な特徴（重複あり）

特 徴	人 数
高齢	1
失業	0
児童	0
母子・寡婦	0
身体・知的・精神障害	0
DV・虐待	0
多重債務	1
傷病	0
その他	0

(4) 現物給付の主な内容（重複あり）

内 容	人 数
食材	0
光熱水費	1
居住関係	0
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	0

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

3/17 深谷市彩の国安心セーフティネット事業連絡会（深谷市：1名）

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護報酬改正等の手続きを柱に取組みを行ないました。具体的には事業報告3ページの令和6年度の主な庶務事項となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

業務目標については、継続して各業務を確実に実施した。また、令和6年度の介護報酬改定の対応ができた。

2. 各会議・委員会報告

- ・運営会議は、各部門の状況報告と情報共有、各月の収支状況の確認を実施できた。
- ・安全衛生委員会は、予定されていた内容で実施できた。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 6. 5.24 定期総会・施設長会議（県老協：1名）
- 5.28 定期総会・第1回経営協セミナー（県経営協：1名）
- 7.27 ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進連絡会（深谷市社協：1名）
- 9.12 科学的介護情報システム（LIFE）第1回説明会（WEB）
（厚生労働省老健局：1名）
- 9.20 令和6年度養介護施設・事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修
（WEB）（埼玉県：1名）
- 9.24 令和6年度 第2回経営協セミナー（県経営協：1名）
- 10.24 令和6年度 防災講習会（深谷地区防災安全協会：1名）
- 10.30 ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進連絡会（深谷市社協：1名）
- 11.25 埼玉県老協 北部圏域研修会（オンライン）（県老協：1名）
- 12. 9 令和6年度 第3回経営協セミナー（県経営協：1名）
- 7. 1.30 令和6年度 第2回施設長会議（県老協：原口哲一）
- 1.22 バーセルインデックス評価研修（全国老人福祉施設協議会：1名）
- 2.17 ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進連絡会（深谷市社協：1名）
- 3.27 埼玉県老協 北部圏域研修会（オンライン）（県老協：1名）

給 食

1. 総評

給食では令和 6 年度事業計画として①安心・安全、②発展、③職員研修、④連携と 4 つの業務目標について取り組みました。

① 「安心・安全」

ミールラウンド時、食形態・トロミの確認を行い、不適切であれば厨房に報告し、次回提供時、きちんとしたものを提供していただくよう改善に努めました。また、提供前に厨房内でいつもと状態が違う時は、お互いに指摘し合い、きちんとしたものを提供してもらうよう依頼しています

② 「発展」

おやつレクの開催もコロナ過における生活では楽しく過ごすための大きな役割を担いました。レク内容が似たものになってしまったため、次年度は提案時に前回は行った内容を踏まえ検討していくよう努めます

行事食・献立に新しいメニューを取り入れ、調理の負担を考えながら、取り入れていくことができました。

③ 「職員研修」

施設内の感染予防研修を感染予防への対策の徹底と意識付けとなるよう実施しました。

④ 「連携」

嗜好調査による利用者からの生の声や検食簿を通して、幅広く職員からの意見を活かし日清医療食品(株)との連携により、メニューや味付け、彩りなど、常に改善意識をもって、食事提供に努めました。

また、デイサービスとの連携により、各部署の食事がおいしく、安全で健康的な生活維持に繋がるよう連携に努めました。

2. 業務内容

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査 厨房内特別個所清掃及び機械器具の点検	残食調査	給食会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認 厨房内特別個所清掃及び機械器具の点検	嗜好調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	残食調査	〃
11	ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策強化 厨房内特別箇所清掃及び機械器具の点検	残食調査	〃
12	年末年始利用者帰省の確認 納入業者年末年始休業確認	残食調査	〃
1		温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	嗜好調査	〃
3	食糧構成の検討・新年度業務計画の作成	残食調査	〃

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

0 件